



補正予算の概要（原油価格・物価高騰対策）

- 現在開会中の市議会第2回（6月）定例会に、追加議案として一般会計総額3億6,932万8千円の補正予算案を提案
- コロナ禍における原油価格・物価高騰に直面している「**市民**」と「**事業者**」を支援する**市独自の対策事業**を編成
- 財源は国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用

1 市民生活の支援

1. 育児臨時特別支援給付金（P2）

⇒令和4年4月1日以降に生まれた子どもを対象に1人10万円を給付

2. 児童・生徒向けマスク配布（P2）

⇒市内の児童・生徒に対して不織布マスクを1人あたり150枚を配布

3. 水道料金（基本料金）の免除（P3）

⇒水道料金（基本料金）3カ月分の免除を実施

4. 地元飲料水供給施設組合への補助（P3）

⇒地域住民で組織する飲料水供給施設組合に対する運営補助を実施

5. プレミアム付デジタル商品券の発行（P4）

⇒市内店舗等で利用できるプレミアム率50%のデジタル商品券を発行

2 事業者の支援

1. 施設園芸農家向けの燃油購入補助（P5）

⇒市内農業者等を対象に加温設備を備えた園芸施設で使用する燃油購入費の一部を補助

2. 商工業者向けの事業活動経費補助（P6）

⇒市内商工業者を対象に物価等の高騰により増額となった事業活動経費の一部（上限10万円）を補助



市民生活の支援（その1）

① 育児臨時特別支援給付金 36,772千円（担当課：こども課）

コロナ禍で日常生活での制約や物価高騰の影響を受けながら出産を迎えた家庭を支援する特別給付を実施

<給付対象者・要件>

- 令和4年4月1日から令和5年3月31日までの間に生まれた子どもで、出生時に紀の川市に住民登録をすること
- 申請時点で子ども・母親ともに紀の川市に住民登録があること

<給付額>

- 対象となる子ども1人につき10万円

② 児童・生徒向けマスクの配布 8,665千円（担当課：教育総務課）

新型コロナウイルス感染症対策のため、小中学校では布マスクではなく、感染予防効果の高い「不織布マスク」の着用を求めていることから、保護者のマスク購入にかかる経済的負担の軽減を図るため、不織布マスクを配布

<配布対象者>

- 市立小中学校に通う児童・生徒
- 市立小中学校以外に通う紀の川市に住民登録のある児童・生徒

<配布枚数>

- 50枚入り×3箱 = 150枚/人（2学期からの登校日数約130日）

<配布方法>

- 市立小中学校に通う児童・生徒 ⇒ 学校で配布
- 市立小中学校以外に通う児童・生徒 ⇒ 保護者の自宅へ郵送



市民生活の支援（その2）

③ 水道料金（基本料金）の免除 94,566千円（担当課：水道総務課）

原油価格・物価高騰の影響を受ける市民生活を支援するため、水道使用量が多くなる夏季の水道料金（基本料金）を3カ月分免除

<免除対象料金>

- 令和4年9月～11月請求分（令和4年7月～9月使用分）

【例】一般家庭用（口径13mm）の場合

基本料金1,250円（税込） × 3カ月分 = **3,750円免除**

※メーター口径ごとに基本料金が異なる。（右記参照）

メーター口径	基本料金（月額・税込）
13・20mm	1,250円
25mm	2,010円
30mm	2,890円
40mm	5,020円
50mm	7,790円
75mm	17,470円

④ 地元飲料水供給施設組合への補助 1,208千円（担当課：生活環境課）

原油価格・物価高騰の影響を受ける地域住民で組織する飲料水供給施設組合を支援するため、運営経費の一部を助成

<補助対象>

- 市内の地元飲料水供給施設組合（18施設組合）

※飲料水として使用しているものに限り助成し、上水道に接続している場合は対象外

<補助内容>

- 上記③の上水道利用者が受ける支援額（口径13mm：3,750円/戸）を基礎額として、組合加入戸数に応じた額を助成

市民生活の支援（その3）

⑤ プレミアム付デジタル商品券の発行 109,029千円（担当課：商工労働課）

原油価格・物価高騰の影響を受ける市民生活の支援と地域経済の活性化を図り、デジタル化の普及促進を高めるため、プレミアム付デジタル商品券を発行

<デジタル商品券の概要>

- プレミアム率：**50%**（※1口：額面7,500円を5,000円で購入可）
- 販売数：**30,000口**（※1人あたり2口まで購入可）
- 購入可能者：紀の川市民限定
- 利用可能店舗：市内飲食店や小売店等（約200店舗を想定）
- 利用可能期間（予定）：令和5年1月上旬から2月下旬

<デジタル商品券の購入・利用方法>

- 専用WEBサイトから購入申込
- 当選者はクレジットカードもしくはコンビニで支払
- 専用アプリを通じて商品券額のポイント付与
- 利用可能店舗でQRコード決済でポイント利用

<参考>

上記のデジタル商品券とは別に「**未来応援券**」の配布に向けて準備中！

- 未来応援券とは
⇒ **市民1人につき1万円分の商品券**を配布
(対象要件：令和4年5月1日時点で紀の川市に住民票がある方が対象)
- 配布時期
⇒ 8月上旬から9月下旬にかけて自宅に順次配送予定
- 利用可能期間
⇒ 令和4年10月から12月



▲ 未来応援券の案内チラシ（参考）



事業者の支援（その1）

① 施設園芸農家向けの燃油購入補助 15,720千円（担当課：農林振興課）

原油価格の高騰に伴い、農業経営に多大な影響を受けている施設園芸農家の負担を軽減するため、燃油購入費の一部を助成

<補助対象者>

- 市内に居住する農業者または市内に事業所を置く農業法人
- 市内の園芸施設で農作物を栽培し、園芸施設内の加温設備等でA重油または灯油を使用していること
- 農林水産省の「施設園芸等燃油価格高騰対策」に加入していないこと
- 市税を滞納していないこと

<補助対象経費>

- 市内の園芸施設内の加温設備等で使用するために購入したA重油または灯油で、基準価格（81.6円/L）を超える価格で購入し、納品日および支払日が令和4年11月1日から令和5年2月28日までのもの

<補助率・上限額>

- 全国平均価格と基準価格の差額に購入量を乗じた金額の1/4（1カ月1aあたり150Lを上限）



事業者の支援（その2）

② 商工業者向けの事業活動経費補助 103,368千円（担当課：商工労働課）

原油価格・物価高騰により経営に多大な影響を受けている商工業者に対して、事業活動経費のうち、物価等の高騰の影響を受ける経費相当額の一部を助成

<主な要件>

- 市内に事業所を有している商工業者
- 令和4年3月31日以前に開業していること
- 商工業者向けの情報を発信する市のメール配信サービスに登録している事業者もしくは今後登録する事業者
- 市税を滞納していないこと

<補助対象経費>

対象年度	補助対象経費
令和3年分	荷造運賃、水道光熱費、旅費交通費、通信費、広告宣伝費、修繕費、消耗品費、給料賃金、外注工賃、地代家賃 など

<補助率・上限額>

- 補助対象経費の2.1%（上限10万円）